

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「インベスコ 英国ポンド建て債券ファンド
<為替ヘッジなし> (毎月決算型) / <為替ヘッジあり> (毎月決算型)」は、このたび、第48期の決算を行いました。

当ファンドは英国ポンド建ての公社債等を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保と投資信託財産の着実な成長を図ることを目標として運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



インベスコ 英国ポンド建て債券ファンド

<為替ヘッジなし> (毎月決算型) / <為替ヘッジあり> (毎月決算型)

愛称: ^{ミスター}Mr. ポンド

追加型投信 / 海外 / 債券

<為替ヘッジなし (毎月決算型) > <為替ヘッジあり (毎月決算型) >

第48期末 (2019年 4月15日)		第48期末 (2019年 4月15日)	
基準価額	5,493円	基準価額	9,819円
純資産総額	1,228百万円	純資産総額	41百万円
第43期～第48期		第43期～第48期	
騰落率	2.1%	騰落率	1.9%
分配金(税込み)合計	140円	分配金(税込み)合計	120円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、インベスコ・アセット・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記<お問い合わせ先>のホームページにアクセスし、「ファンダー一覧」等から運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

交付運用報告書

第43期 (決算日 2018年11月15日)

第44期 (決算日 2018年12月17日)

第45期 (決算日 2019年 1月15日)

第46期 (決算日 2019年 2月15日)

第47期 (決算日 2019年 3月15日)

第48期 (決算日 2019年 4月15日)

作成対象期間 (2018年10月16日～2019年 4月15日)

インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<お問い合わせ先>

お問い合わせダイヤル: (03)6447-3100

(受付時間: 毎営業日の午前9時から午後5時)

ホームページ <http://www.invesco.co.jp/>



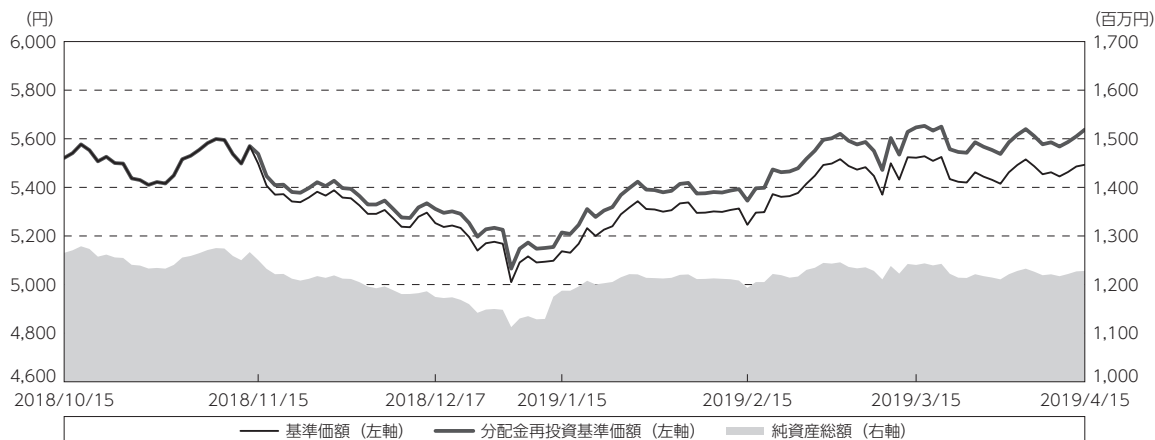
見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

インベスコ 英国ポンド建て債券ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2018年10月16日～2019年4月15日)



第43期首：5,521円

第48期末：5,493円 (既払分配金(税込み)：140円)

騰落率：2.1% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2018年10月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

[上昇要因]

- ・英国ポンド建ての公社債などを実質的な投資対象としているため、実質的に保有する債券からのインカムゲイン(利息収入)が、基準価額の上昇要因となりました。
- ・①英国の欧州連合(EU)離脱(ブレグジット)交渉への警戒感、②米連邦準備理事会(FRB)のハト派姿勢(金融緩和を選好)への転換、③世界的な景気減速懸念一などを受け、英国国債利回りが低下(債券価格は上昇)したことが、基準価額の上昇要因となりました。

[下落要因]

- ・実質外貨建資産について対円で為替ヘッジを行わなかったため、英国ポンドが対円でわずかに下落したことが、基準価額の下落要因となりました。
- ・ブレグジット交渉への警戒感や世界的な景気減速懸念などから信用スプレッドが拡大したことが、基準価額の下落要因となりました。

1万口当たりの費用明細

(2018年10月16日～2019年4月15日)

項 目	第43期～第48期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 24	% 0.447	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(4)	(0.081)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
(販 売 会 社)	(19)	(0.350)	購入後の情報提供、運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	3	0.055	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.001)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.016)	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(2)	(0.038)	印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要する費用
合 計	27	0.502	
作成期間の平均基準価額は、5,360円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

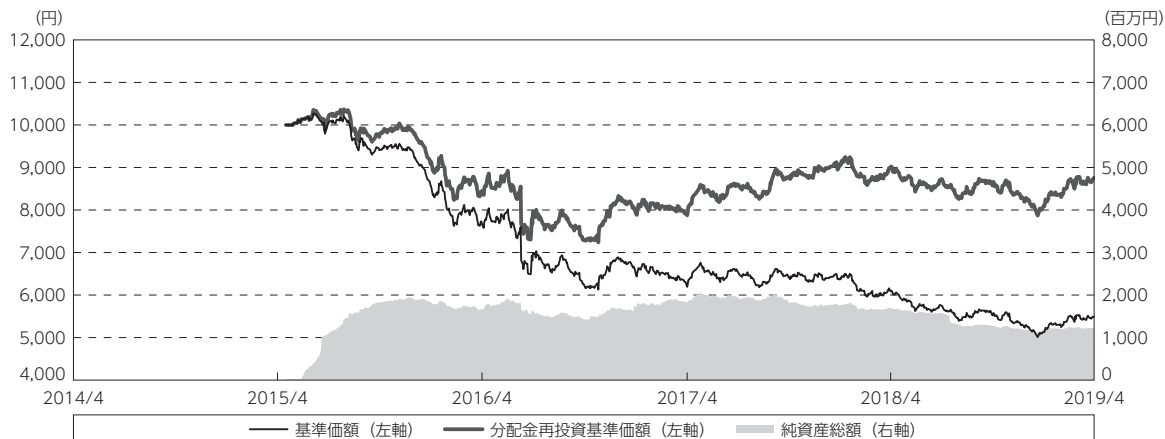
(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。

(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2014年4月15日～2019年4月15日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 当ファンドの設定日は2015年5月1日です。

	2015年5月1日 設定日	2016年4月15日 決算日	2017年4月17日 決算日	2018年4月16日 決算日	2019年4月15日 決算日
基準価額 (円)	10,000	7,666	6,193	6,087	5,493
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	880	960	960	420
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 15.5	△ 6.8	14.3	△ 2.7
純資産総額 (百万円)	24	1,670	1,813	1,683	1,228

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2016年4月15日の騰落率は設定当初との比較です。

(注) 当ファンドは、特定の市場指数にとらわれずに、市場局面や今後の見通しにあわせて、投資対象、信用格付配分、金利感応度等を積極的に変化させる運用を行うため、当ファンドと比較する適切なベンチマークまたは参考指数が存在しません。このためベンチマークまたは参考指数を掲載していません。

投資環境

(2018年10月16日~2019年4月15日)

英国2年国債	0.79%	(前作成期末 0.82%)	英国5年国債	0.94%	(同 1.17%)
英国10年国債	1.22%	(同 1.61%)	英国ポンド／円	146円68銭	(同 146円86銭)

※上記は当作成期末の数値です。

<債券市場>

当作成期間中、英国10年国債利回りは低下しました。作成期初より、世界的な株安を背景に投資家のリスク回避姿勢が強まったほか、イタリアの予算案に対する警戒感、さらには欧州中央銀行（ECB）による利上げ見通しの後退などを受けて金利は低下基調となりました。その後も、①ブレグジット交渉の難航を背景に投資家心理が悪化したこと、②FRBのハト派姿勢への転換一などにより、債券買いがさらに進みました。以上のような投資環境下、作成期末時点の英国10年国債利回りは前作成期末を下回りました。

<為替市場>

当作成期間中、英国ポンドは対円でわずかに下落しました。作成期を通じてブレグジット交渉の進ちよくや世界景気の減速懸念などに一喜一憂する展開となりましたが、依然としてブレグジット交渉の先行きに不透明感が強いことなどを背景に、当作成期を通じるとわずかに円高／英国ポンド安で作成期末を迎えました。

当ファンドのポートフォリオ

(2018年10月16日～2019年4月15日)

インベスコ 英国ポンド建て債券 マザーファンド (以下、マザーファンドといいます。) を高位に組み入れ、英国ポンド建ての公社債などに実質的に投資しました。残余部分はインベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信) (以下、マネープール・ファンドといいます。) を組み入れ、安定した収益の確保を図りました。また、実質外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行いませんでした。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・スターリング・ボンド・ファンド クラスC-QD投資信託証券 (英国ポンド建て) に投資を行いました。同外国投資信託では、原則として、純資産総額の50%以上を英国ポンド建ての公社債に投資を行いました。ポートフォリオ構築に当たっては、マクロ分析とクレジット分析に基づいて銘柄を選択し、特定の市場指数にとらわれずに、市場局面や今後の見通しにあわせて、投資対象、信用格付配分、デュレーション (金利感応度) などを積極的に変化させる運用を行いました。具体的には、投資適格社債、ハイイールド社債の組入比率を高位とし、ポートフォリオの中心的な投資対象としつつも、市場下落時に備えてキャッシュや先進国国債などの流動性資産も一部組み入れました。また、ポートフォリオのデュレーションは引き続き英国ポンド建て社債市場よりも短めに維持しました。

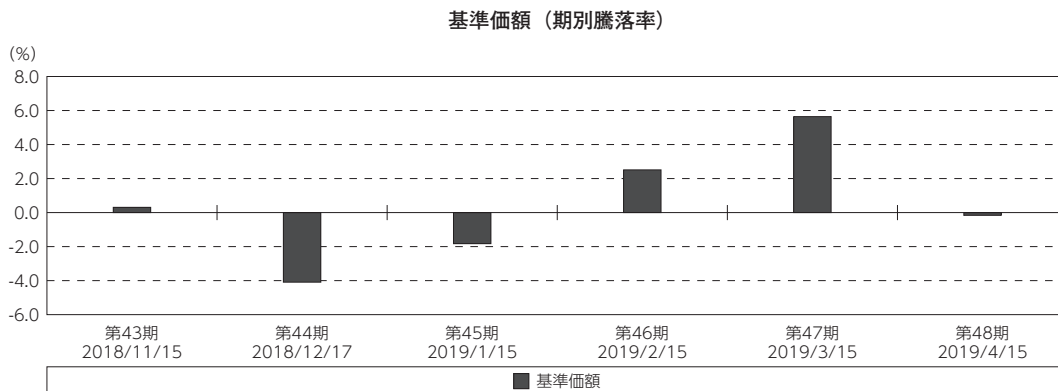
マネープール・ファンドでは、資産規模などを勘案し、短期金融商品による運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2018年10月16日～2019年4月15日)

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークや参考指数を設けておりません。

下記のグラフは、当作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率 (分配金込み) です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税込み) 込みです。

分配金

(2018年10月16日～2019年4月15日)

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向および残存信託期間などを勘案し、第43期が1万口当たり40円、第44期から第48期まで1万口当たり20円（全て税込み）とさせていただきます。収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期	第48期
	2018年10月16日 ～2018年11月15日	2018年11月16日 ～2018年12月17日	2018年12月18日 ～2019年1月15日	2019年1月16日 ～2019年2月15日	2019年2月16日 ～2019年3月15日	2019年3月16日 ～2019年4月15日
当期分配金	40	20	20	20	20	20
(対基準価額比率)	0.722%	0.379%	0.388%	0.380%	0.361%	0.363%
当期の収益	—	—	—	—	—	—
当期の収益以外	40	20	20	20	20	20
翌期繰越分配対象額	6,127	6,129	6,109	6,088	6,112	6,092

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

マザーファンドを高位に組み入れ、英国ポンド建ての公社債などに実質的に投資します。残余部分はマネープール・ファンドを組み入れ、安定した収益の確保を図ります。実質外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行わない方針です。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・スターリング・ボンド・ファンド クラスC-QD投資信託証券（英国ポンド建て）に投資を行います。同外国投資信託では、原則として、純資産総額の50%以上を英国ポンド建ての公社債に投資を行います。ポートフォリオ構築に当たっては、マクロ分析とクレジット分析に基づいて銘柄を選択し、特定の市場指数にとらわれずに、市場局面や今後の見通しにあわせて、投資対象、信用格付配分、デュレーションなどを積極的に変化させる運用を行います。具体的には、発行体のファンダメンタルズ分析、債券のリスク・リターンバランスを考慮しながら銘柄選定を行う方針です。現在、デュレーションは英国ポンド建て社債市場よりも短めに維持しています。投資先のセクターでは、金融セクター、特に金融劣後債に魅力的な投資機会があると考えています。劣後債は保険会社、公益セクターおよび通信セクターでも投資を行っており、中長期的に強気の見通しを持っています。また、キャッシュや先進国国債などの流動性資産を多く保有しており、市場の価格変動性が高まる環境下ではプラスに作用すると考えています。これらの流動性資産を用いて、リスク調整後の利回りが魅力的であると判断した投資対象に投資を行う方針です。引き続き、積極的にデュレーションや資産配分を調整し、中長期で安定した収益の獲得に努めていきます。

マネープール・ファンドでは、円貨建ての短期公社債および短期金融商品を中心に運用を行います。

お知らせ

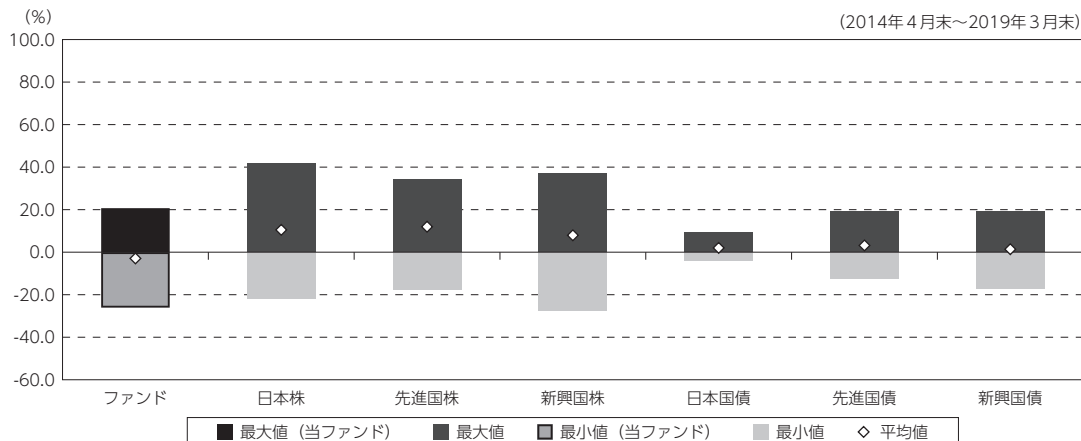
- ・付表に規定する「別に定める投資信託証券」の削除および「別に定める日」にかかる記載を変更するため、信託約款に所要の変更を行いました。(2019年1月10日)

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券	
信 託 期 間	2025年4月15日まで	
運 用 方 針	投資信託証券への投資を通じて、主として英国ポンド建ての公社債等に実質的に投資することにより、安定した収益の確保と投資信託財産の着実な成長を図ることを目標として運用を行います。	
主 要 投 資 対 象	インベスコ 英国ポンド建て債券 ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	「インベスコ 英国ポンド建て債券 マザーファンド」および「インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)」を主要投資対象とします。
	インベスコ 英国ポンド建て債券 マザーファンド	別に定める投資信託証券*へ投資し、主として英国ポンド建ての公社債等に実質的に投資します。 *別に定める投資信託証券とは、ルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・スターリング・ポンド・ファンド クラスC-QD投資信託証券(英国ポンド建て)です。
	インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資します。
運 用 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・主として英国ポンド建ての公社債等に実質的に投資します。 ・自由度の高い運用手法を用いて、信用格付別配分や金利感応度等を積極的に変化させます。 ・実質外貨建資産について、原則として、対円での為替ヘッジを行いません。 	
分 配 方 針	原則として毎月の決算時(毎月15日、該当日が休業日の場合は翌営業日)に委託会社が、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	-2.9	10.5	12.0	7.9	2.0	3.2	1.4
最大値	20.7	41.9	34.1	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	-26.1	-22.0	-17.5	-27.4	-4.0	-12.3	-17.4

(注) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2014年4月から2019年3月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。なお、当ファンドは2016年5月以降の年間騰落率を用いております。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：TOPIX（東証株価指数）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

※各指数についての説明は、P22の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2019年4月15日現在)

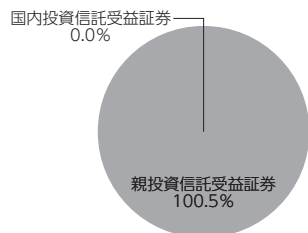
○組入上位ファンド

銘柄名	第48期末
インベスコ 英国ポンド建て債券 マザーファンド	100.5 %
インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)	0.0
組入銘柄数	2銘柄

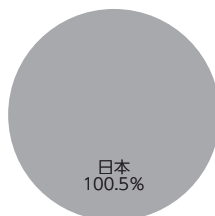
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

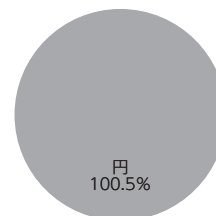
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍 (所在国) などを表示しております。

純資産等

項目	第43期末	第44期末	第45期末	第46期末	第47期末	第48期末
	2018年11月15日	2018年12月17日	2019年1月15日	2019年2月15日	2019年3月15日	2019年4月15日
純資産総額	1,250,468,473円	1,174,526,965円	1,187,444,029円	1,193,114,352円	1,240,351,801円	1,228,075,603円
受益権総口数	2,274,263,508口	2,235,929,611口	2,311,414,952口	2,274,338,189口	2,246,227,085口	2,235,689,585口
1万円当たり基準価額	5,498円	5,253円	5,137円	5,246円	5,522円	5,493円

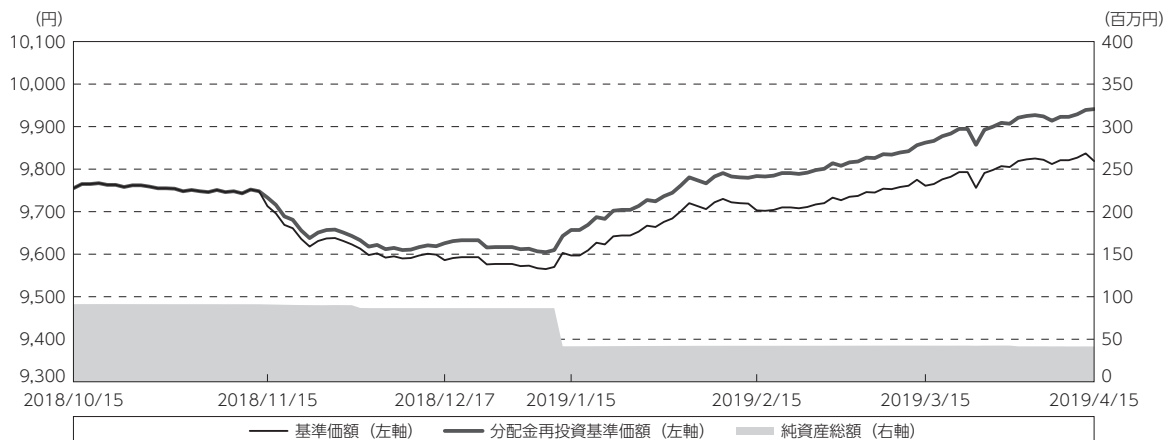
* 作成期間 (第43期~第48期) 中における追加設定元本額は167,503,149円、同解約元本額は223,497,314円です。

インベスコ 英国ポンド建て債券ファンド<為替ヘッジあり> (毎月決算型)

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2018年10月16日～2019年4月15日)



第43期首：9,755円

第48期末：9,819円 (既払分配金(税込み)：120円)

騰落率：1.9% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2018年10月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

[上昇要因]

- ・英国ポンド建ての公社債などを実質的な投資対象としているため、実質的に保有する債券からのインカムゲイン(利息収入)が、基準価額の上昇要因となりました。
- ・①英国の欧州連合(EU)離脱(ブレグジット)交渉への警戒感、②米連邦準備理事会(FRB)のハト派姿勢(金融緩和を选好)への転換、③世界的な景気減速懸念などを受け、英国国債利回りが低下(債券価格は上昇)したことが、基準価額の上昇要因となりました。

[下落要因]

- ・実質外貨建資産について対円での為替ヘッジを行ったため、英国ポンドと円の金利差によるヘッジコストが、基準価額の下落要因となりました。
- ・ブレグジット交渉への警戒感や世界的な景気減速懸念などから信用スプレッドが拡大したことが、基準価額の下落要因となりました。

1万口当たりの費用明細

(2018年10月16日～2019年4月15日)

項 目	第43期～第48期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 43	% 0.447	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(8)	(0.081)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
(販 売 会 社)	(34)	(0.350)	購入後の情報提供、運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	5	0.054	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.001)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.012)	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(4)	(0.041)	印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要する費用
合 計	48	0.501	
作成期間の平均基準価額は、9,696円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

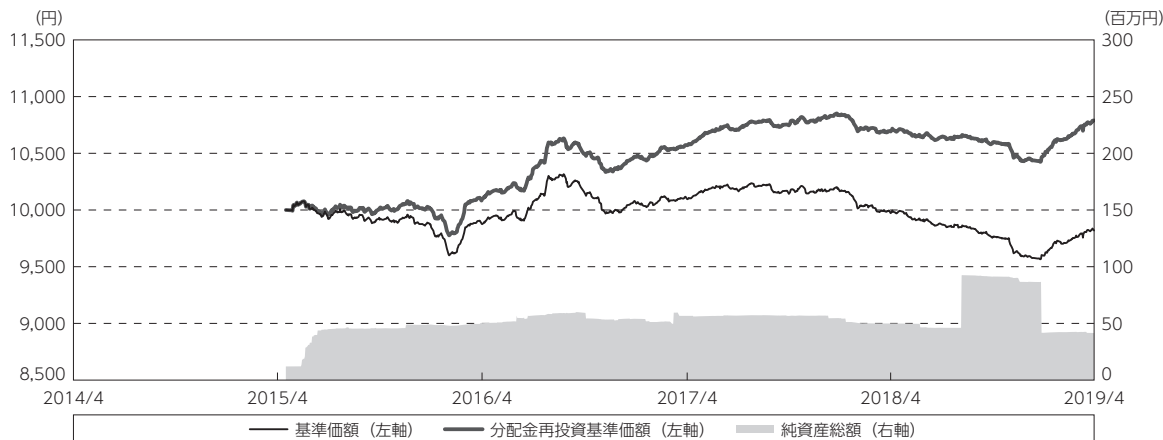
(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。

(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2014年4月15日～2019年4月15日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 当ファンドの設定日は2015年5月1日です。

	2015年5月1日 設定日	2016年4月15日 決算日	2017年4月17日 決算日	2018年4月16日 決算日	2019年4月15日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,875	10,095	9,972	9,819
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	220	240	240	240
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	1.0	4.7	1.1	0.9
純資産総額 (百万円)	12	50	56	49	41

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2016年4月15日の騰落率は設定当初との比較です。

(注) 当ファンドは、特定の市場指数にとらわれずに、市場局面や今後の見通しにあわせて、投資対象、信用格付配分、金利感応度等を積極的に変化させる運用を行うため、当ファンドと比較する適切なベンチマークまたは参考指数が存在しません。このためベンチマークまたは参考指数を掲載していません。

投資環境

(2018年10月16日~2019年4月15日)

英国2年国債	0.79%	(前作成期末 0.82%)	英国5年国債	0.94%	(同 1.17%)
英国10年国債	1.22%	(同 1.61%)	英国ポンド／円	146円68銭	(同 146円86銭)

※上記は当作成期末の数値です。

<債券市場>

当作成期間中、英国10年国債利回りは低下しました。作成期初より、世界的な株安を背景に投資家のリスク回避姿勢が強まったほか、イタリアの予算案に対する警戒感、さらには欧州中央銀行（ECB）による利上げ見通しの後退などを受けて金利は低下基調となりました。その後も、①ブレグジット交渉の難航を背景に投資家心理が悪化したこと、②FRBのハト派姿勢への転換一などにより、債券買いがさらに進みました。以上のような投資環境下、作成期末時点の英国10年国債利回りは前作成期末を下回りました。

<為替市場>

当作成期間中、英国ポンドは対円でわずかに下落しました。作成期を通じてブレグジット交渉の進ちよくや世界景気の減速懸念などに一喜一憂する展開となりましたが、依然としてブレグジット交渉の先行きに不透明感が強いことなどを背景に、当作成期を通じるとわずかに円高／英国ポンド安で作成期末を迎えました。

当ファンドのポートフォリオ

(2018年10月16日～2019年4月15日)

インベスコ 英国ポンド建て債券 マザーファンド (以下、マザーファンドといいます。) を高位に組み入れ、英国ポンド建ての公社債などに実質的に投資しました。残余部分はインベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信) (以下、マネープール・ファンドといいます。) を組み入れ、安定した収益の確保を図りました。また、実質外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図りました。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・スターリング・ボンド・ファンド クラスC-QD投資信託証券 (英国ポンド建て) に投資を行いました。同外国投資信託では、原則として、純資産総額の50%以上を英国ポンド建ての公社債に投資を行いました。ポートフォリオ構築に当たっては、マクロ分析とクレジット分析に基づいて銘柄を選択し、特定の市場指数にとらわれずに、市場局面や今後の見通しにあわせて、投資対象、信用格付配分、デュレーション (金利感応度) などを積極的に変化させる運用を行いました。具体的には、投資適格社債、ハイイールド社債の組入比率を高位とし、ポートフォリオの中心的な投資対象としつつも、市場下落時に備えてキャッシュや先進国国債などの流動性資産も一部組み入れました。また、ポートフォリオのデュレーションは引き続き英国ポンド建て社債市場よりも短めに維持しました。

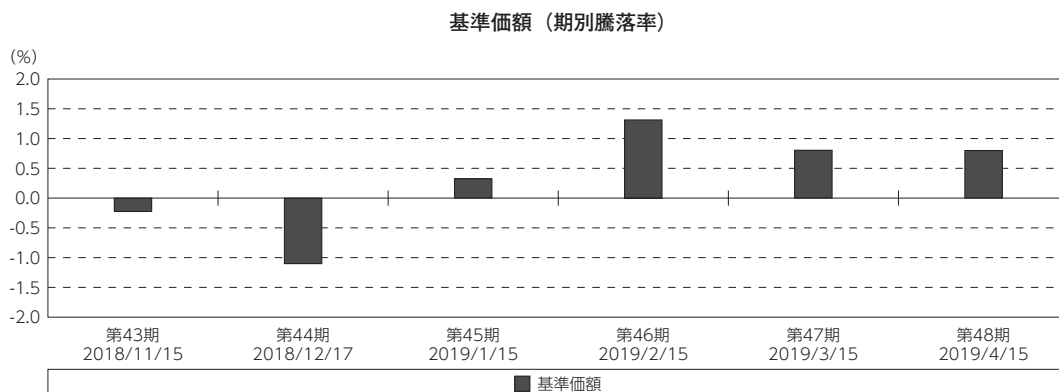
マネープール・ファンドでは、資産規模などを勘案し、短期金融商品による運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2018年10月16日～2019年4月15日)

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークや参考指数を設けておりません。

下記のグラフは、当作成期中の当ファンドの期別基準価額騰落率 (分配金込み) です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税込み) 込みです。

分配金

(2018年10月16日～2019年4月15日)

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向および残存信託期間などを勘案し、第43期から第48期まで1万口当たり20円(全て税込み)とさせていただきます。収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項目	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期	第48期
	2018年10月16日 ～2018年11月15日	2018年11月16日 ～2018年12月17日	2018年12月18日 ～2019年1月15日	2019年1月16日 ～2019年2月15日	2019年2月16日 ～2019年3月15日	2019年3月16日 ～2019年4月15日
当期分配金	20	20	20	20	20	20
(対基準価額比率)	0.205%	0.208%	0.208%	0.206%	0.204%	0.203%
当期の収益	-	-	-	-	-	-
当期の収益以外	20	20	20	20	20	20
翌期繰越分配対象額	8,645	8,663	8,643	8,623	8,676	8,656

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

マザーファンドを高位に組み入れ、英国ポンド建ての公社債などに実質的に投資します。残余部分はマネープール・ファンドを組み入れ、安定した収益の確保を図ります。実質外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図ります。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・スターリング・ボンド・ファンド クラスC-QD投資信託証券(英国ポンド建て)に投資を行います。同外国投資信託では、原則として、純資産総額の50%以上を英国ポンド建ての公社債に投資を行います。ポートフォリオ構築に当たっては、マクロ分析とクレジット分析に基づいて銘柄を選択し、特定の市場指数にとらわれずに、市場局面や今後の見通しにあわせて、投資対象、信用格付配分、デュレーションなどを積極的に変化させる運用を行います。具体的には、発行体のファンダメンタルズ分析、債券のリスク・リターンバランスを考慮しながら銘柄選定を行う方針です。現在、デュレーションは英国ポンド建て社債市場よりも短めに維持しています。投資先のセクターでは、金融セクター、特に金融劣後債に魅力的な投資機会があると考えています。劣後債は保険会社、公益セクターおよび通信セクターでも投資を行っており、中長期的に強気の見通しを持っています。また、キャッシュや先進国国債などの流動性資産を多く保有しており、市場の価格変動性が高まる環境下ではプラスに作用すると考えています。これらの流動性資産を用いて、リスク調整後の利回りが魅力的であると判断した投資対象に投資を行う方針です。引き続き、積極的にデュレーションや資産配分を調整し、中長期で安定した収益の獲得に努めていきます。

マネープール・ファンドでは、円貨建ての短期公社債および短期金融商品を中心に運用を行います。

お知らせ

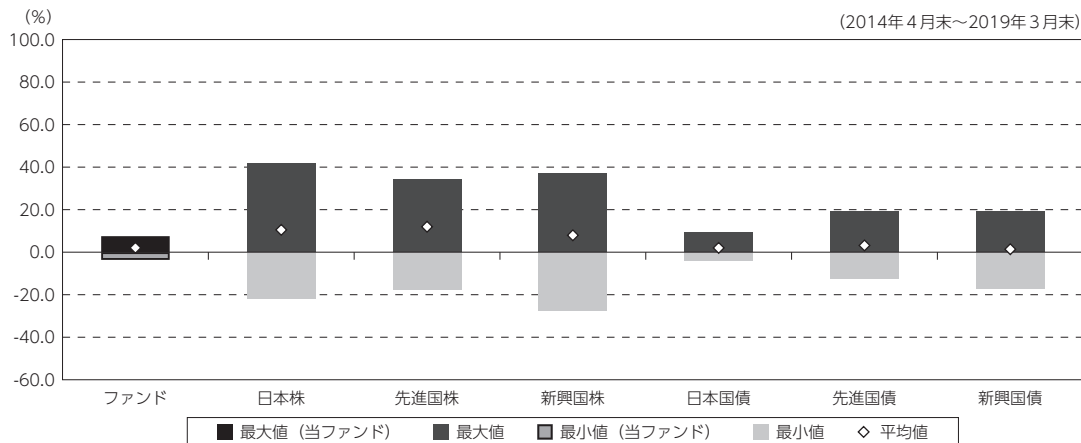
- ・付表に規定する「別に定める投資信託証券」の削除および「別に定める日」にかかる記載を変更するため、信託約款に所要の変更を行いました。(2019年1月10日)

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2025年4月15日まで	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として英国ポンド建ての公社債等に実質的に投資することにより、安定した収益の確保と投資信託財産の着実な成長を図ることを目標として運用を行います。	
主要投資対象	インベスコ 英国ポンド建て債券 ファンド<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	「インベスコ 英国ポンド建て債券 マザーファンド」および「インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)」を主要投資対象とします。
	インベスコ 英国ポンド建て債券 マザーファンド	別に定める投資信託証券*へ投資し、主として英国ポンド建ての公社債等に実質的に投資します。 *別に定める投資信託証券とは、ルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・スターリング・ポンド・ファンド クラスC-QD投資信託証券(英国ポンド建て)です。
	インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資します。
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・主として英国ポンド建ての公社債等に実質的に投資します。 ・自由度の高い運用手法を用いて、信用格付別配分や金利感応度等を積極的に変化させます。 ・実質外貨建資産について、原則として、対円での為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。 	
分配方針	原則として毎月の決算時(毎月15日、該当日が休業日の場合は翌営業日)に委託会社が、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	2.1	10.5	12.0	7.9	2.0	3.2	1.4
最大値	7.5	41.9	34.1	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	-3.6	-22.0	-17.5	-27.4	-4.0	-12.3	-17.4

(注) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2014年4月から2019年3月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。なお、当ファンドは2016年5月以降の年間騰落率を用いております。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：TOPIX（東証株価指数）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

※各指数についての説明は、P22の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2019年4月15日現在)

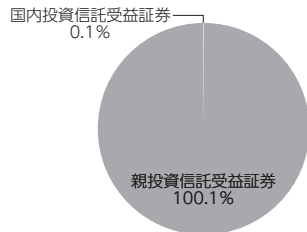
○組入上位ファンド

銘柄名	第48期末
インベスコ 英国ポンド建て債券 マザーファンド	100.1 %
インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)	0.1
組入銘柄数	2銘柄

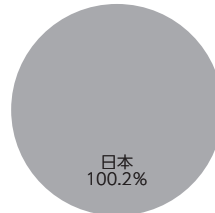
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

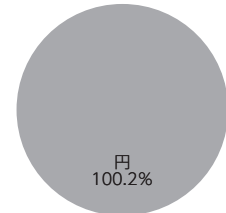
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍 (所在国) などを表示しております。

純資産等

項目	第43期末	第44期末	第45期末	第46期末	第47期末	第48期末
	2018年11月15日	2018年12月17日	2019年1月15日	2019年2月15日	2019年3月15日	2019年4月15日
純資産総額	90,856,877円	86,506,064円	41,716,075円	42,221,088円	42,313,430円	41,492,498円
受益権総口数	93,545,159口	90,243,604口	43,469,853口	43,515,273口	43,350,119口	42,257,879口
1万円当たり基準価額	9,713円	9,586円	9,597円	9,703円	9,761円	9,819円

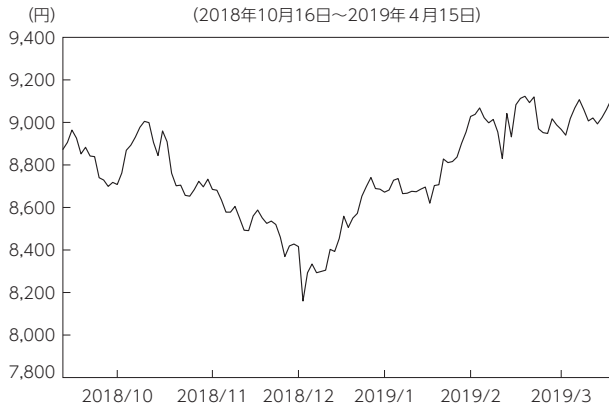
* 作成期間 (第43期~第48期) 中における追加設定元本額は511,616円、同解約元本額は51,739,849円です。

組入上位ファンドの概要

インベスコ 英国ポンド建て債券 マザーファンド

【基準価額の推移】

(2018年10月16日～2019年4月15日)



【1万口当たりの費用明細】

(2018年10月16日～2019年4月15日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用) (その他)	0 (0) (0)	0.001 (0.001) (0.000)
合計	0	0.001

期中の平均基準価額は、8,746円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

【組入上位ファンド】

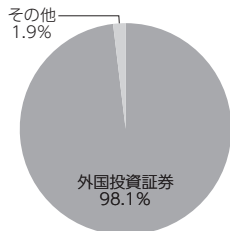
(2019年4月15日現在)

銘柄名	第8期末
インベスコ・スターリング・債券・ファンド クラスC-QD	98.1%
組入銘柄数	1銘柄

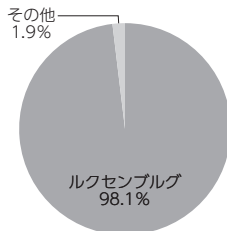
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

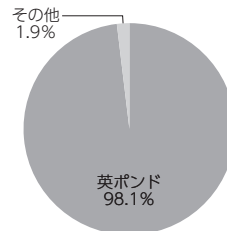
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍(所在国)などを表示しております。

(注) その他には現金等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

———— (参考情報) ルクセンブルグ籍外国投資法人
インベスコ・スターリング・ボンド・ファンド ————

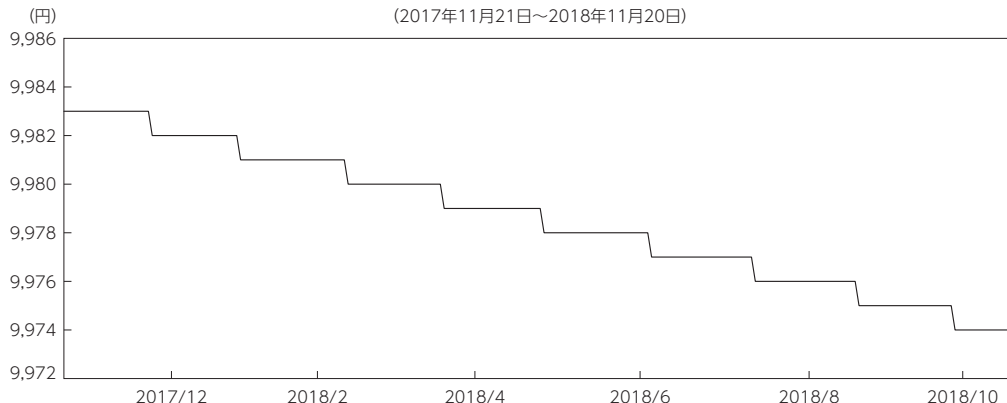
「インベスコ 英国ポンド建て債券 マザーファンド」が主要投資対象としている「インベスコ・スターリング・ボンド・ファンド」は、ルクセンブルグ籍外国投資法人です。

なお、当ファンドは、インベスコ・グループが運営するアイルランド籍ファンドとルクセンブルグ籍ファンドの統合に伴い、「アイルランド籍外国投資信託 インベスコ・スターリング・ボンド・ファンド」が2018年10月5日付で統合され運用を開始したものです。当ファンドの統合後の初回決算は2019年2月28日ですが、2019年4月15日時点で入手し得る決算データはありません。このため当ファンドの直近の情報については、該当事項はありません。

インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)

【基準価額の推移】

(2017年11月21日～2018年11月20日)



【1万口当たりの費用明細】

(2017年11月21日～2018年11月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	0 (0) (0) (0)	0.000 (0.000) (0.000) (0.000)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用 (そ の 他)	0 (0)	0.002 (0.002)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、信託事務の処理に要するその他の費用等
合 計	0	0.002	
期中の平均基準価額は、9,978円です。			

(注) 期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

組入資産の内容

(2018年11月20日現在)

2018年11月20日現在、有価証券等の組み入れはございません。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

○TOPIX (東証株価指数) (配当込み)

TOPIXは、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄の株価を対象として算出した指数です。TOPIXは、東京証券取引所の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、東京証券取引所が有しています。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

○MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI コクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。なお、円ベース指数については、委託会社がMSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、米ドルベース) に、当日の米ドル為替レート (WM/ロイター値) を乗じて算出しています。

○NOMURA - BPI 国債

NOMURA - BPI 国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA - BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

○FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイドは、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。円ベース指数については、委託会社がJP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド (米ドルベース) に、当日の米ドル為替レート (WM/ロイター値) を乗じて算出しています。

指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利はJPMorgan Chase & Co.及び関係会社 (「JP モルガン」) に帰属しております。JP モルガンは、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。JP モルガンは、指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドを推奨するものでもなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。